

2022 年 3 月 25 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2022年2月）

1. 概況

県内経済は、持ち直しの動きが一服している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、弱含んでいる。住宅投資は、持ち直しのペースが鈍化している。この間、生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。雇用・所得環境は、一部に改善の動きがみられる。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、減少している。

公共工事請負金額（2022年2月）は、引き続き前年を下回った（前年比△46.4%）。

設備投資は、増加している。

2021年12月短観（岩手県）における2021年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている（前年比+23.0%）。内訳をみると、製造業では、前年度からの先送り案件や半導体関連の能力増強投資等から前年比大幅に増加する計画（同+32.1%）となっている。非製造業でも前年を上回る計画（同+11.7%）となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などから、弱含んでいる。

百貨店売上高（全店舗ベース：2022年1月）は、2カ月振りに前年を上回った（前年比+0.3%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2022年1月）は、3カ月振りに前年を上回った（同+0.9%）。一方、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2022年2月）は、前年比マイナス幅が拡大した（同△18.5%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に弱い動きが続いている。

住宅投資は、持ち直しのペースが鈍化している。

新設住宅着工戸数（2022年1月）は、3カ月振りに前年を上回った（前年比+29.7%）。内訳をみると、貸家（同2.7倍）が前年を大幅に上回った。一方で、

持家（同△12.1%）と分譲（同△51.3%）は前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、供給制約の影響から、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

2021年12月の鉱工業生産指数（季節調整値）は、2ヵ月連続で前月を上回った（前月比+4.6%）。主な業種の指数をみると、輸送機械、食料品、電子部品・デバイスが上昇した一方、生産用機械などは低下した。しかし、2022年1月以降については、輸送機械主要メーカーが、半導体不足に加え、部品の調達先における感染症拡大の影響から生産調整を実施している。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、一部に改善の動きがみられる。

有効求人倍率（季節調整値：2022年1月）は、1.32倍と2ヵ月連続で前月を上回った（2021年12月：1.28倍）。

雇用者所得（県内合計値：2021年12月）は、常用雇用指数（前年比△0.1%）が前年を下回ったものの、名目賃金指数（同+4.0%）が前年を上回ったことから、2ヵ月振りに前年を上回った（同+3.9%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2022年2月）は、引き続き前年を上回った（前年比+0.5%）。内訳をみると、光熱・水道が上昇し、交通・通信、被服及び履物が下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2022年2月）は、5件、347百万円となった（前年同月：3件、165百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2022年1月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2022年1月）は前月に比べて低下した。

以上

